

令和 6 年 6 月 11 日現在

機関番号：11301

研究種目：若手研究

研究期間：2020～2023

課題番号：20K13506

研究課題名（和文）新農保政策が農村高齢者の労働供給と健康水準に与える影響及びそのメカニズムの解明

研究課題名（英文）The Effects of China's New Rural Pension Programs on the Labor Supply and Health Status of the Elderly

研究代表者

陳 鳳明（CHEN, FENGMING）

東北大学・経済学研究科・助教

研究者番号：30803051

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究課題では、（1）新農保政策が農村高齢者の労働供給に与える影響、（2）新農保政策が農村高齢者の健康に与える影響、（3）人口政策による子どもの需要の抑制と健康投資、（4）退職が健康に与える影響という4つの分析を行った。すべての内容はディスカッションペーパーとして公開され、そのうち、（4）は国際学術誌に掲載された。（1）-（3）に関しては、引き続き国際誌に投稿を進めている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究プロジェクトでは、中国で導入された新農保政策が農村高齢者の労働供給や健康状態に与える影響を明らかにしたうえで、特に負の影響については、健康投資や詳細なメカニズムの解析を通じて対策を提案した。今後の発展途上国が類似的状況に直面した場合、この研究は政策の負の効果を軽減するための政策立案の基礎を提供できた。

研究成果の概要（英文）：This research project analyzed four themes: (1) the influence of the new rural pension scheme on the labor supply of rural elderly, (2) the impact of the new rural pension scheme on the health status of elderly individuals in rural communities, (3) the suppression of children's demand and health investments due to population policies, and (4) the consequences of retirement on health focusing on the mechanism. The findings from these analyses have been disseminated through discussion papers, with the investigation into retirement's health effects being published in an international scholarly journal. Efforts are ongoing to submit the studies concerning the first three themes to international journals for publication.

研究分野：医療経済学

キーワード：新農保政策 労働供給 健康状態 RDD CHARLS 因果効果 メカニズム

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

近年、中国をはじめとする新興国が急速に成長していることが世界的に注目されている。しかし、国民年金などの社会保障制度が十分に整備されておらず、多くの人々が不安を抱えたまま高齢期を迎えている。これは、社会問題としてしばしば指摘される事態である。高齢者の養老問題を改善することは、単に高齢者一人ひとりの生活状況を改善するだけでなく、家族全員の生活状況や国の経済発展にも深く関わっている。この問題を解決しなければ、社会の安定や経済の持続可能な発展が阻害される恐れがある。2009年から、中国政府は「基本の保証、広いカバー範囲、弾力性、持続可能」という基本原則の下、新型農村社会養老保険（以下、新農保）モデル事業を展開している。この制度は、農村住民の老後の基本的生活を保障する目的で創設された。しかし、農村の高齢者の労働供給や健康水準にどのような影響を与えているのか及びそのメカニズムについては、実証的に検証する必要がある。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、個票データを用いて、新農保政策といった社会保障政策が高齢者の労働供給や健康状態に与える影響及びそのメカニズムを明らかにすることである。

## 3. 研究の方法

本研究では、China Health and Retirement Longitudinal Study (CHARLS) をはじめとする複数の大規模の調査データを利用し、回帰不連続デザインなどといった計量分析手法を用いて、新農保政策を代表する社会保障政策が高齢者の労働供給や健康状態に与える影響及びそのメカニズムを分析した。

## 4. 研究成果

分析結果としては、以下の4点を明らかにした。

(1) 1つ目の研究では、第4回目のCHARLSデータを利用し、高度な計量分析手法を用いて、新農保政策が高齢者の労働供給に与える影響を分析した。60歳前後の高齢者に限って、高齢者の労働形態によらず、この新農保政策は高齢者の労働供給に影響を与えていないことが分かった(陳, 2021)。

(2) 2つ目の研究では、新農保政策が高齢者の健康に及ぼす影響及びそのメカニズムを明らかにした。(1)と同様なデータと手法を利用し、健康に関する様々な指標を用いて検証したところ、大部分の健康指標に関しては、有意な推定結果が得られず、いくつかの健康指標のみ負の推定結果が得られた。農民でも定年退職できるという考え方が社会へ広がり、労働意欲の強い労働者であっても、働く場所が限られている。60歳を迎えると、今後の収入が減っていくことを懸念し、メンタルヘルスに悪い影響が出やすいと言える(陳, 2024a)。

(3) 3つ目の研究では、労働市場からの引退がその後の健康推移に与える影響に関して、2007年から2013年に4回にわたり実施されている『くらしと健康の調査 (Japanese Study of Aging and Retirement: JSTAR)』の個票パネルデータを使って検証した。引退後に歯科利用率が有意に高まるのが、口腔機能の改善につながっているというメカニズムが有力である結果を得た(Chen et al., 2024)。

(4) 4つ目の研究では、人口抑制策による子どもへの需要の抑制が高齢者の健康投資に与える影響を分析した。新農保政策といった社会保障政策はセフティネットとしての役割の効果が限定されており、「一人っ子」政策によって影響される人にとっては、事前に健康投資を行うこと

が期待されている。2017 年の中国総合社会調査の個票データを用いて、人口政策による子どもへの需要の制限が、民間医療保健への加入促進と運動頻度頻度の増加を通じて、健康投資行動に繋がっていることが分かった（陳, 2024b）。

#### 引用文献

陳鳳明(2021)「新農保政策が農村高齢者の労働供給に与える影響について」, TERG Discussion Papers, No.458, pp.1-32. (査読なし)

陳鳳明 (2024a)「2018 年 CHARLS データ分析を通じてみる：中国の社会保障政策の導入がもたらす影響」, TERG Discussion Papers, No.486. (査読なし)

CHEN, F., WAKABAYASHI, M., and YUDA, M. (2024). The Impact of Retirement on Health: Empirical Evidence from the Change in Public Pensionable Age in Japan, *The Journal of the Ageing Economics*, Vol.28, 100513.

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2212828X24000136>

陳鳳明(2024b)「人口抑制策による子どもの需要の抑制と健康投資」, TERG Discussion Papers, No.487. (査読なし)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 陳鳳明、若林緑、湯田道生	4. 巻 22-J-034
2. 論文標題 引退後の高齢者の健康推移：公的年金制度改革を利用した実証研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 陳鳳明	4. 巻 No.61
2. 論文標題 新農保政策と農村高齢者の健康	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東北大学高齢経済社会研究センターニュースレター	6. 最初と最後の頁 9-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 陳鳳明	4. 巻 No.458
2. 論文標題 新農保政策が農村高齢者の労働供給に与える影響について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 TERG Discussion Papers	6. 最初と最後の頁 1-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 陳鳳明	4. 巻 47
2. 論文標題 新農保政策が農村高齢者の労働供給に与える影響	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東北大学高齢経済社会研究センターニュースレター	6. 最初と最後の頁 10-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Chen Fengming, Wakabayashi Midori, Yuda Michio	4. 巻 28
2. 論文標題 The impact of retirement on health: Empirical evidence from the change in public pensionable age in Japan	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 The Journal of the Economics of Ageing	6. 最初と最後の頁 100513 ~ 100513
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jeoa.2024.100513	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計4件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 Michio YUDA
2. 発表標題 Health transition after retirement: Empirical evidence from public pension reform in Japan
3. 学会等名 The 5th International Conference on Econometrics & Statistics (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 陳鳳明
2. 発表標題 人口抑制策による子どもの需要の抑制と健康投資
3. 学会等名 第38回生活経済学会研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 陳鳳明
2. 発表標題 引退と高齢者の健康：年金受給開始年齢の変更を用いた実証研究
3. 学会等名 医療経済学会第16回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 陳鳳明
2. 発表標題 中国の新農保政策が農村高齢者の労働供給に及ぼす影響に関する実証研究
3. 学会等名 日本財政学会第78回研究大会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

医療経済学会での報告 <a href="https://sites.google.com/view/caestop/home">https://sites.google.com/view/caestop/home</a> 日本財政学会での報告 <a href="https://sites.google.com/view/caestop/home">https://sites.google.com/view/caestop/home</a>
--

6. 研究組織		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 The 5th International Conference on Econometrics & Statistics	開催年 2022年～2022年
---	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------